

# 入札広告

次のとおり条件付一般競争入札に付します。

平成21年7月31日

契約責任者 本州四国連絡高速道路株式会社  
常務取締役 武田 文男

## 記

### 1. 工事概要

- (1) 工事名 平成21年度 逆走防止設備工事
- (2) 工事場所 神戸淡路鳴門自動車道  
自) 兵庫県神戸市須磨区弥栄台(布施畑JCT)  
至) 徳島県鳴門市撫養町(鳴門IC)  
瀬戸中央自動車道  
自) 岡山県都窪郡早島町(早島IC)  
至) 岡山県倉敷市児島阿津(児島IC)  
西瀬戸自動車道  
自) 広島県尾道市因島大浜町(大浜PA)  
至) 愛媛県今治市高部(来島海峡SA)
- (3) 工事内容 本工事は、神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道、西瀬戸自動車道において逆走防止設備を整備するものである。
- (4) 工事概算数量 逆走防止設備 38箇所
- (5) 工期 契約締結の日の翌日から平成22年3月25日まで
- (6) その他 本工事は、簡易な施工計画等の技術的所見を求め、価格以外の評価項目と価格とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式(簡易型)の工事である。

### 2. 競争参加資格確認申請書の作成及び提出に関する事項

- (1) 申請書の提出  
入札参加希望者は、技術資料を添付した競争参加資格確認申請書(以下「申請書等」という。)を提出するものとする。
- (2) 申請書等の作成  
技術資料は技術資料作成要領に基づき作成するものとする。
- (3) 申請書等の入手方法  
入札参加希望者は、技術資料作成要領、入札広告の写し、契約書案、入札及び見積り手引き、図面、仕様書、(以下「設計図書等」という。)を入札広告の日から平成21年8月18日(火)までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後4時

まで、下記の場所において実費負担（１部６００円）で入手できる。

本州四国連絡高速道路株式会社 経理部会計契約課

（住所）〒651-0088 神戸市中央区小野柄通 4-1-22

（電話番号）078-291-1035(直通)

(4) 申請書等の提出期間及び場所

申請書等の提出期間及び提出場所は、下記のとおりとする。

- ①提出期間 平成21年7月31日（金）から平成21年8月18日（火）までの土曜日、日曜日、及び祝日を除く毎日午前10時から午後4時まで
- ②提出場所 (3)に同じ。持参のみ。郵送または電送は受け付けない。
- ③申請書等の確認 受付時に単純な記載漏れまたは記載ミスがないかどうかを確認する必要があるため、提出する資料について内容を理解し、説明できる者が持参すること。

3. 競争参加資格

当該工事に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件をすべて満足し、かつ、本州四国連絡高速道路株式会社（以下「本四会社」という。）による当該工事に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。

(1) 次の各号の一に該当しない者であること。

- ①電気通信工事に係る建設業法（昭和24年法律第100条）第3条の規定に基づく国土交通大臣または知事の許可及び同法第27条の23第2項に規定する経営事項審査（告示（平成20年国土交通省告示第85号をいう。）第1の1に規定する審査基準日が入札及び開札の日の1年7月前の日以後のものに限る。）を受けていない者
- ②契約を締結する能力を有しない者（未成年者、成年被後見人、被保佐人または被補助人。ただし、未成年者、被保佐人または被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ているものを除く。）及び破産者で復権を得ない者
- ③本四会社の過去2年以内において次の（イ）から（チ）までの一に該当したと認められる者
  - （イ）契約の履行に当たり、故意に工事を粗雑にし、または材料等の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
  - （ロ）公正な競争の執行を妨げた者または公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るため連合した者
  - （ハ）落札者が契約を締結することまたは契約者が契約を履行することを妨げた者
  - （ニ）監督または検査の実施にあたり、社員の職務の執行を妨げた者
  - （ホ）正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
  - （ヘ）本四会社に提出した書類に虚偽の記載をした者
  - （ト）その他本四会社に著しい損害を与えた者
  - （チ）（イ）から（ト）までのいずれかに該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行にあたり、代理人、支配人その他これらに準ずる者として使用した者

④経営状態が著しく不健全であると認められる者

- (2) 本州四国連絡高速道路株式会社平成21・22事業年度工事等入札参加有資格者（以下「有資格者」という。）のうち、「交通情報設備工事」の認定を受け、希望工事内容に「可変表示設備」がある者（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更正手続開始の申立てがなされている者または民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、社長が別に定める手続きに基づく工事指名競争参加資格の再認定を受けていること。以下同じ。）であること。
- (3) 上記に掲げる工事入札参加資格の認定を受けていない者も記2. (4)により申請書等を提出することができるが、入札に参加するためには、競争参加資格確認結果通知の日までに、当該資格の認定を受けていなければならない。
- (4) 入札広告の前年度から起算した過去5年間（平成16年度以降）の本四会社（本州四国連絡橋公団を含む。以下同じ。）における当該工種の工事成績の平均点が65点未満でないこと。（本四会社における当該工種の工事实績がない者は65点とする。）
- (5) 申請書等（技術資料を除く。）の提出期限の日から開札の日までの期間に、「工事請負契約に係る指名停止等に関する達」（本四会社達平成17年第48号）に基づき「地域1（兵庫県、徳島県）」、「地域2（岡山県、香川県）」、「地域3（広島県、愛媛県）」並びに「地域4のうち大阪府、高知県」において、指名停止を受けていないこと。
- (6) 地理的条件  
大阪府、兵庫県、徳島県、岡山県、香川県、広島県、愛媛県または高知県のいずれかの府県に建設業法の許可に基づく本店、支店または営業所を有すること。
- (7) 施工実績  
過去10年間（平成11年度以降）に元請けとして完成・引渡し完了した次の同種工事の施工実績を有すること。ただし、施工実績について本四会社が発注し、平成13年度以降に完成・引渡し完了した工事である場合にあっては、請負工事等成績評定要領第5条第2項に規定する評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のもの並びに国、地方公共団体及び公共工事の入札契約の適正化の促進に関する法律（平成12年11月27日法律第127号）第2条第1項の政令で定める法人（以下「他の機関」という。）が発注した工事である場合にあっては、工事成績評定が一定の点数未満であるために当該機関の競争入札において施工実績として認めていないものを除く。  
なお、特定建設工事共同企業体及び経常建設共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。  
下記同種工事を必要とする。  
(イ) 道路上で交通情報設備の設置及び試験調整を行った工事  
(ロ) 高速道路又は自動車専用道路において、車線規制又は路肩規制を行った工事  
なお、(イ)、(ロ)の経験は同一の工事において有する必要はない。
- (8) 配置予定の技術者等  
次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を当該工事に配置できること。

ただし、現地での据付調整期間については専任で配置できること。(現地での据付調整期間は、平成22年1月から平成22年3月を予定している。)なお、製作工場の配置予定技術者と据付調整現場の配置予定技術者は同一でなくともよい。

- ①主任(監理)技術者にあつては、入札参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。なお、恒常的雇用関係とは、技術資料提出日以前に3ヶ月以上の雇用関係にあることをいう。
- ②監理技術者にあつては、技術資料の提出時に監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
- ③主任(監理)技術者にあつては、下記の(イ)から(ニ)のいずれかの資格等を有する者であること。

(イ)電気工学または電気通信工学に関する学科を卒業後電気通信工事に係る下記の実務経験を有する者。

- ・高等学校 (旧実業学校) 5年以上
- ・高等専門学校 (旧専門学校) 3年以上
- ・大学 (旧大学) 3年以上

(ロ)電気通信工事に係る10年以上の実務経験を有する者。

(ハ)技術士(電気電子部門または総合技術監理部門(選択科目を電気電子部門に係るものとするものに限る。))の資格を有する者。

(ニ)電気通信事業法第46条第3項の規定による電気通信主任技術者資格者証の交付を受けた者であつて、その資格者証の交付を受けた後電気通信工事に関し5年以上実務の経験を有する者。

(9)配置予定の現場代理人

現場代理人は当該工事に常駐で配置できること。

(10)同種工事の経験

現場代理人または主任(監理)技術者のいずれかが、過去10年間(平成11年度以降)に下記の同種工事の経験を有すること。ただし、経験について本四会社が発注し、平成13年度以降に完成・引渡しが完了した工事である場合にあつては、評定点合計が65点未満のもの並びに国、地方公共団体及び他の機関が発注した工事である場合にあつては、工事成績評定が一定の点数未満であるために当該機関の競争入札において経験として認められていないものを除く。

なお、特定建設工事共同企業体及び経常建設共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。

下記同種工事を必要とする。

- (イ)道路上で交通情報設備の設置及び試験調整を行った工事
  - (ロ)高速道路又は自動車専用道路において、車線規制又は路肩規制を行った工事
- なお、(イ)、(ロ)の経験は同一の工事において有する必要はない。

(11)主要設置予定機器等評価

- ①主要機器製造予定業者の過去10年間(平成11年度以降)の納入実績の有無。

なお、主要機器とは車両検知器及びLED表示板をいい、製造予定業者とは、自社製造の場合は自社、他社へ製造を依頼する場合は依頼先製造業者をいう。

②（大阪府、兵庫県、徳島県、岡山県、香川県、広島県、愛媛県または高知県のいずれか）での主要機器の保守技術支援体制の有無。

(12) 本工事における、記4. (2) に示す施工計画等の記載内容が、適正であることが必要である。また施工計画等の記載がない場合は競争参加資格を認めない。

#### 4. 総合評価落札方式（簡易型）に関する事項

##### (1) 総合評価落札方式（簡易型）の仕組み

本工事の総合評価落札方式は、標準点100点(記3. の要件を満たし入札参加できる場合に付与する点数)に技術資料の内容に応じ最大30点の加算点（入札参加希望者が提出した施行計画の評価結果に応じて付与する点数と企業の施工能力及び配置予定技術者の評価結果に応じて付与する点数を加算した点数）を加えた点数を入札価格で除した数値（記4. (3) でいう「評価値」を算出し、落札予定者を決定する方式とする。

その概要を以下に示すが、具体的な評価項目、評価指標及び入札時の評価に関する基準については、技術資料作成要領による。

##### (2) 評価項目及び評価指標

評価項目	評価指標
①施工計画	1) 工程計画に対する技術的所見 2) 品質管理に対する技術的所見 3) 安全管理に対する技術的所見
②企業の施工能力	1) 同種工事の施工実績 2) 本四会社における交通情報設備工事の工事成績
③配置予定技術者の能力	1) 同種工事の施工実績 2) 本四会社における交通情報設備工事の現場代理人または主任（監理）技術者としての工事成績 3) 配置予定技術者の資格

##### (3) 評価及び落札者の決定方法

入札参加者の技術資料による評価項目（評価指標）を評価し、

評価値＝（標準点＋加算点）／入札価格

の最も高い者を落札者となるべき者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、またはその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内で発注者の決める最低限の要求要件を全て満たして入札した他の者のうち評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

なお、落札者となるべき条件については、次に掲げる要件に該当する者である。

①入札価格が予定価格の制限範囲内であること。

②施工計画等の内容が発注者の設定している最低限の要求要件を下回らないこと。

##### (4) 評価点の付与の方法

記3. の要件を満たしていれば標準点の100点を付与するものとし、加算点は最大30点とし、評価項目毎にその内容を評価し、評価に応じて加算点を付与するものとし

る。

(5) (3)において、評価値の最も高い者が2人以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

(6) 評価内容の履行に関する事項

受注者の責により、技術資料に記載された施工計画等の内容が履行されなかった場合は、その程度により請負工事成績評点を最大10点減点する。また、契約違反としての措置を講ずる場合がある。

## 5. 入札執行の日時及び場所等

(1) 開札日時：平成21年9月24日(木) 14時00分 予定

(競争参加資格確認結果通知書に記載)

(2) 場 所：記2.(3)の 第一会議室

(3) 方 法：持参すること。

## 6. 配置予定主任(監理)技術者の確認

落札者決定後、CORINS等により配置予定の主任(監理)技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

なお、病気、死亡、退職等極めて特別な場合でやむを得ないものとして承認された場合の外は、技術資料の差し替えは認められない。病気等特別な理由により、やむを得ず配置予定技術者を変更する場合は、記3.(7)に掲げる基準を満たし、かつ当初の配置予定技術者と同等以上であると発注者が承認した者を配置しなければならない。

## 7. その他

(1) 提出された申請書等は、返却しない。

(2) 手続に関する問い合わせ先は、記2.(3)に同じ。

(3) 申請書等に虚偽の記述をした者は、当該工事の競争参加資格の確認を取り消すとともに、「工事請負契約に係る指名停止等に関する達」(本四会社達平成17年第48号)に基づく指名停止を行うことがある。

また、競争参加資格の確認を受けていない者のした入札、申請書等に虚偽を記述した者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。さらに、無効の入札を行った者を落札者としていた場合は落札決定を取り消すものとする。

(4) 入札者の故意または重大な過失により入札書が無効となった場合は、当該入札者に対し、指名停止の措置を講じることがある。

(5) 低入札価格調査を受けた者との契約については、契約保証金の額を請負代金額の10分の3以上とするとともに、前払金の額を請負代金額の10分の2以内とする。なお、本措置は工事が進捗した場合の部分払の請求を妨げるものではない。

以 上

競争参加資格確認申請書

平成 年 月 日

契約責任者

本州四国連絡高速道路株式会社

常務取締役 武田 文男 殿

業者コード（注 1）

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

担当者氏名

電話番号

平成 21 年 7 月 31 日付けで入札広告のありました平成 21 年度 逆走防止設備工事に係る競争に参加する資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、契約を締結する能力を有しない者（未成年者、成年被後見人、被保佐人または被補助人。ただし、未成年者、被保佐人または被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者を除く。）及び破産者で復権を得ない者でないこと並びに添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

1 技術資料

注 1 業者コードは当社より送付された「平成 21・22 事業年度工事一般競争（指名競争）参加資格認定通知書」に記載されているコード番号を記載してください。